

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。〔8番 渡辺栄一君登壇〕

○8番（渡辺栄一君）

おはようございます。渡辺栄一でございます。よろしくお願いいたします。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し、活動することで当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、糸魚川総合病院における産婦人科診療等の変更及び支援策について。

糸魚川総合病院の産科閉鎖が来年2月末とのことであるが、地域の医療体制に懸念が生じていることについて伺います。

- (1) 少子化問題も深刻で看過できない事態ではありますが、閉鎖の経緯や事情をどのように認識しているか。
- (2) 当病院では出産を控えた女性のケアが全てできなくなるのか。
- (3) 当病院は、地域医療の中心的存在であり、産科の閉鎖について、市として何らかの対策を検討しているのか。
- (4) 市内で子供を産み育てることがますます困難になることが予想され、出産を控えた世帯も不安が大きいと考えられます。サポートの対策を考えているか。
- (5) 当病院で次に懸念されるのが、人工透析の設備や人的体制の維持である。これに関する情報はありますか。
- (6) 来年4月以降、医師の確保状況にもよりますが、市外の医療機関に通院せざるを得ない出産を控えた妊婦さんへの交通手段や助成を考えていますか。

2、当市における次世代モビリティである新たな公共交通手段について。

去る10月12日に西海地区において、新たな交通手段として注目されるグリーンスローモビリティの試乗運行があり、これらの新しい取組などを含めて、現行との考え方と併せて伺います。

- (1) 現在の路線バスの運行利用状況や課題などをどのように考えているか。
- (2) 新しい動きの背景にあるものは何か。現在の交通手段との違いは何だと捉えているか。
- (3) 試乗運行の評価はどうであったか。また、当市が導入するに当たって、障壁になるものは何か。
- (4) 先般、建設産業常任委員会が市外調査を行った、長野県東御市のデマンド交通システムを先進事例として捉え、調査研究を通じて、導入する考えはあるか。
- (5) 高齢者の利用が多い電動カート（シニアカー）の購入に補助金制度などを設ける考えはないか。

3、降雪対策について。

当市にとって気がかりな降雪期間を迎えるに当たり、その対策について伺う。

- (1) 今冬の降雪量を例年に比べ、どのように予測しているか。また、これに対する予算額をどのくらい見積もっているか。
- (2) 昨冬、市内で発生した雪害は、どのような事案があったか。また、今冬はどのように対処

するか。

(3) 道路等のインフラを守るため、消雪パイプや防雪柵などの点検補修は進んでいるか。

(4) 各家庭で管理している消雪パイプについても、補修や新たな設備が必要になった場合の助成はどうなっているか。

(5) 高齢者などの生活弱者の住居の除雪をどのように助成していくか。除雪のボランティアの紹介や斡旋などのシステムをどう機能させていくか。

(6) 除雪に当たる方々の多くは市民であり、大変心苦しいところでもありますが、オペレーションが大雑把、不十分という声も聞かれます。どのように対応しているか。

4、当市の諸課題について。

(1) 来年度4月以降の柵口温泉権現荘の今後の施設運営について、どのようなビジョンを描いているのか。

(2) 当市における人口減少や少子高齢化は、県内各市町村の共通の課題でもあり、教育や福祉などの分野でもこれまでの取組では対応できない難しい問題に直面しています。加茂市では、10月1日付で今後のまちづくりを担う「加茂市最高戦略責任者（CSO）」任用の報道がありました。当市においても外部の人材を活用する必要があると思いますが、考えはあるか。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

渡辺議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、糸魚川総合病院における出産件数の減少と産科医師の不足によるものと捉えております。

2点目につきましては、妊産婦健診は継続していくと伺っております。

3点目につきましては、引き続き富山大学に医師派遣をお願いするとともに、県や糸魚川総合病院と連携し、医師確保に努めております。

4点目につきましては、現在行っている妊娠届け時の面談や乳児全戸訪問など、引き続き身近で気軽に相談できる体制となるよう努めてまいります。

5点目につきましては、特に懸念事項等は伺っておりません。

6点目につきましては、本定例会補正予算に計上したタクシー代助成などの妊産婦支援を継続していく予定であります。

2番目の1点目につきましては、利用者は減少傾向が続いており、運行本数の維持など利便性の確保が課題となっております。

2点目につきましては、全国で生じている人口減少や人手不足などの社会情勢を踏まえたものと捉えております。

3点目につきましては、導入すれば利用したいとの声がある一方、時間がかかり過ぎるとのご意見もいただいております。

課題は、天候不良時の運行や担い手の確保などと考えております。

4点目につきましては、現在一部の地域においてタクシーの定額乗り放題の実証実験を行っており、デマンド交通を含め、地域の実情に見合った交通体系を検討してまいります。

5点目につきましては、要介護状態や一定の障害のある方への給付制度等があります。

3番目の1点目につきましては、降雪量は平年より多めと予測しており、8億円の道路除雪費を見込んでおります。

2点目につきましては、本年2月に島道地内において雪崩災害が発生し、1人がお亡くなりになっております。今冬も雪崩発生が懸念されることから、警戒区域を設定し、11月22日から来年3月31日まで立入禁止といたしております。

3点目につきましては、毎年計画的に点検や補修を行っております。

4点目につきましては、個人所有の施設は所有者が行っていただくものであることから、助成は行っておりません。

5点目につきましては、自力での除雪が困難な高齢者世帯などを対象に、民生委員と連携し、屋根雪除雪等費用助成事業を実施いたしております。

6点目につきましては、適切に行っているものと考えております。

4点目の1点目につきましては、民間譲渡の可能性を検討しております。当面、日帰り温泉の営業は続けてまいりたいと考えております。

2点目につきましては、専門的な見地が必要となる場合など状況に応じて検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入らせていただきます。

11月の出生数といいますか、それは何人だったのでしょうか。

それとまた、新年度からのトータルは、何人でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

正確な数字、今、正直持っておりません。昨年ですと1年間で171名の出生届けが出されておったかと思えます。したがって、それをならしますと、月十数名ぐらいであるというふうを考えております。

今年度につきましては、これまでたしか100名ぐらいであったかと思えます。昨年度よりも少ない状況であるということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

私のほうから補足でご説明申し上げます。

今11月中の出生数でございますが、10名、10人ということで今なっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やっぱりちょっと減り方が激しいなという感じはいたします。

(1) 番に関連して、今のところ病院側と連携を取りながらやっているけれども、ちょっと打つ手なしの状態、産婦人科医師団からは、糸魚川市ではちょっと採算が取れないので足元を見られている。そういう状態で、どうしても人口が多い18万5,000人のほうへ行ってしまおうというようなことなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

糸魚川だからということではございません。産科医の不足は、もう全国的なことではございまして、どこもやはり足りない状況の中において、富山大学から医師を派遣いただいておりますが、大学にもやはり不足状態が続いておるとい状況であります。そういう中で、現在お勤めいただいております先生が続けてきたんですが、やはりご高齢になったという理由でお辞めになる。その後継がなかなかうまくいってない、そういう状況でありまして、それを今ほかでということを探しているんですが、なかなか難しい。また県も加わっていただいておりますが、難しいということでもあります。

ですから、出産件数が少ない場合にはどう対応すればいいのかということもあるわけですが、我々としては、ぜひともお願いしたいということで、例えば糸魚川総合病院で出産件数が減ったら、その分をどう対応できるかというのは、やはり行政も連携しながら支援をしていく覚悟で探しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかお願いしているけども、ちょっと見つからないという、そういうことなんでしょうかと思っております。ちょっと深刻だなというふうには受け止めております。でも行政として、引き続きこれに関しては粘り強くやっていただきたいと、そのように思っております。

(2) 番でございます。このケアといいますか、出産されたケアが全くできないのかという問いに対しては、まだこれはやるんだというようなことだったんですけども、これに関してはどこの、

当病院のどこの科で診てもらえるということなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、産婦人科のうち、産科の医師がなかなか確保できなくて、出産については今の見通しですと厳しいということですが、婦人科の医師につきましては、富山大学からの紹介で何とか確保できて、そして、婦人科については維持できる見通しだということで、この出産を控えた女性のケアが婦人科においてできる見通しであるということになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

3番、4番に関連することなんですけども、かなり入り口のところでちょっとこずってるような感じはするんですけども、糸魚川市も兵庫県の明石市のように、高校3年生まで医療無料だとか、第2子以降の保育料は無料にするとか、何かこう、どれか糸魚川でもやれるというような、そういったものというのはできないものなんですか。これがもう手一杯なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

糸魚川市でも、様々子育ての支援策を講じているところでございます。例えば今ほどお話のあった医療費でございますが、一部負担金をお支払いする中でも助成の制度というものも持ってきておりますし、妊娠してから出産、また子育てまでについての支援につきましては、連携といいますか一連する中で、各種支援を行いまして、皆様が安心して産み育てるような体制づくりに努めているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

どこの市町村も一通りのことはやってるんだろうと思うんですね。差別化にやっぱりなってないんじゃないかなというふうに思います。

また、それがどうもニーズに合っていないというわけじゃないんですけども、どうしても見栄えないというのがやっぱりあるんじゃないかなと思うので、どうしてもそこら辺が魅力がないという変な言い方ですけども、どうもそういったものが漂っているような感じはするんですけど、そういったことはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嶋田こども課長。〔教育委員会こども課長 嶋田 猛君登壇〕

○教育委員会こども課長（嶋田 猛君）

お答えいたします。

子育て世帯、少子化等につきましては、日々、社会の環境というのは変わるものだというふうに私どもも認識しております。30年前と今とは全く違うでしょうし、社会の環境も異なるものだと思います。そういった環境を踏まえる中で、時代のニーズに適した支援策というのを行政としても提供していったることでもありますし、必ずしも経済的支援を多く出せば少子化が減少になるのかというと、そういうことでもないともっております。財政負担等も伴うものでありますので、そういったことも加味しながら、今後の少子化対策、人口減少対策に努めてまいりたいと捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなか難しい問題だなと思います。

（5）番に関しては、人工透析の場合、命に関わることなので、今のところそういうことは報告がないということなので、それは安心いたしました。今後も人的体制の維持をお願いしたいと思います。

（6）ですけれども、これは今回予算に計上されるということで、これは今のところこれからということで、やるということは聞きましたので、これは了解いたしました。

2番目の質問についてであります。

（1）なんですけれども、関連してですけれども、私もたまに早川線を、バスの早川線を利用するんですけれども、糸魚川駅に早く行きたいんですけれども糸魚川総合病院経由のため、途中で曲がったりして変更されて、到着するまでかなり時間がかかっているなという感じはします。時間帯にもよるかと思うんですけれども、あまり乗車というのはされてないように思われて、毎年、年々減ってるなと思いますけれども、こういった資料というのをお持ちなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

利用人数ですとか、当然、運行系統に関しましては、私どもは資料を持って、毎年、改善作業の業務につなげております。今お話のありました、ちょうど質問にありました時間帯によるというのも、まさしくそのとおりでございます。朝・夕の通勤・通学時間帯と日中の比較的利用の少ない時間帯というのを、やはり効率性というところも加味しながら走り分けをしておりますので、そういう状態のときには、少し乗り継ぎとかそういう部分が必要になるという、ただこれも、私どもの公共交通の政策の中で取り組んできたやり方でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

現在、糸魚川市で65歳以上の占める割合というんでしょうか、高齢化率が40%を超えているというふうに捉えていますけども、今後もこれは増え続けるという予測で間違いはないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

データの的には2020年から65歳以上の方というのは、逆にちょっと少なくなってきたんですが、率で行きますと人口が減ってきますので、減って行って、かつ皆さん1年ずつ年を取っていきますので、高齢化率というのは上がっていくものというふうに推測しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

4番目に関連してなんですけども、当市も、先ほど言いましたように少子高齢化、あるいはマイカーの普及に伴って、バスの利用者が年々減っているという傾向が見られます。もちろんバスも必要不可欠なんですけども、自治体の現状に合った新公共交通システムの導入が必要となってくるので、市役所の内部でやっぱりプロジェクトチームというんでしょうか、そういったものを立ち上げる時期に来てるのではないかと思うんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

通学をする高校生、彼らに対しましては、朝・夕に一定の時間帯にある程度まとまった量というところで、ああいう路線バスというものは、これからもずっと必要だというふうに思います。

ただ、議員ご質問のようにマイカーの普及によって、ずっと高齢者になってもマイカーを運転、便利ですので、マイカーの運転を諦めたときには、もうそれはちょっとバス停まで行けないというような、ちょっとその隙間という部分が生まれているのも確かだと思います。それで、いろんなところでいろんな事例が取り組まれておりますし、今までの公共交通、定時で大量輸送というだけではなくて、やはりそこに福祉的な視点ですとか、教育的な視点というのは以前から必要だということを考えております。プロジェクトチームというものはございませんけど、そういう福祉的な部分、教育的な部分とは、随時、調整をしながら政策に取り組んでおるといった状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかそう思っても、やっぱりやっついていかないと駄目だと思うんですよね。思うだけでは、やっぱり前へ進まないし、皆さんも糸魚川市のために市の職員になられたんだろうと思いますし、やっついていくべきだと思いますしね。その代弁者である市議会議員も、そうなると要らないということになるし、そうなると市の職員も要らないということだし、これから65歳まで定年延長で、何をやるのかということにもなりかねませんので、やっぱりやる時は早くやったほうが、時代に即したやり方というんでしょうかね、そういったものを早くいいところは導入していくということが大事だと思うんですけど、このまま停滞して、朝の通勤時間帯は、バスは走っていいと思うんですけど、その昼間の時間帯をここの東御市は、大分16年ぐらい前からもうスタートしてやっっているということなので、そこら辺やっぱりちょっと考えていってもらいたいと思うんですけど、そこら辺改めていかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

五十嵐都市政策課長。〔都市政策課長 五十嵐博文君登壇〕

○都市政策課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

議員も行かれて、資料等をご覧になっているかと思いますが、東御市の場合には、人口3万人程度で糸魚川市とそうそう大差はないんですが、居住が一部温泉地域等を除くと比較的コンパクトにまとまっております。そこが私どもの地形的なつらいところでございまして、今の東御市のような朝と日中を、そのまま日中をデマンド化というところには、担い手の問題、行政的なコストの問題で、ちょっと全くそれにそぐう、そのまま当てはめるということはできません。

ただ、そういうデマンドに関しては、本当にいろんな事例がありますので、随時、机の上でも調査はできます。私どもが何をやっているかという、西海の運動公園で集まっていたいて、実際に体感していただいたような、ああいうグリーンスローモビリティのようなところで何とか補うことができないかとか、今10月からやっております、街なかを中心なんですが、日中の比較的暇な時間帯にタクシーをもっと積極的に乗っていただけないかということで取り組んでいるような実証実験、これらも組み合わせて、議員おっしゃるような次世代にマッチングした部分というのを本当に今探っておるといような状況でございます。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

なかなかすぐはというような感じじゃないんで、なかなか私が期待しているような答弁ではあま

りないので、これ以上はもう言ってもしょうがないのかなと思います。いずれにしても、そういう時期に来てるということなので、早急に取り組んでいただきたいというふうに思います。できない理由を言われても困るので、やっぱりやれることからやっていていただきたいと、そのように考えております。

それでは、5番目、シニアカーというんですか、電動カートというんですか、これは価格は幾らぐらいだということなんですけど、どのぐらいかご存知でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

品物によってではありますが、大体30万から40万程度というふうにお聞きしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

某所の農業祭で展示されていましたが、非課税で35万9,000円でした。コンセントで充電できて、ご年配の方にはいい乗り物だなというふうには思いますし、やはり購入に際して何か助成、そういったものがないかと思うんですけど、改めてそういった考えはないでしょうか。お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

こちらのシニアカー、電動車椅子という位置づけで、介護保険や障害福祉の制度において、身体機能を補完する用具ということで、給付の対象にはなっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これ幾ら助成されるんでしょうか、もうちょっと細かく教えていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

介護保険の制度でありますと、電動車椅子はレンタル、貸与の対象になりまして、品物によっても若干違うんですが、おおむね月額2,000円、1割負担であれば2,000円となっております。

障害福祉の制度でありますと補装具ということで、こちらは利用者負担は、原則1割になりますが、所得の状況によって、例えば非課税の方であれば自己負担額はゼロ円というふうになっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これ全くじゃああれなんですかね、普通の人というわけじゃないんですけども、健常者という大変な言い方ですけど、年を取られて、年を取られたというのは変な言い方ですけど、結構年配の方で、ちょっと足腰が弱ってというわけじゃないんですけど、もう車も返したし、もう免許も返して、とりあえず足も痛いし、歩くのも大変だということで、じゃあそろそろこういった乗り物に乗らないといけないなという、そういう方には全くないんでしょうか。そこら辺ちょっと確認したいんですけども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

今ほど議員のほうからお話ありましたとおり、いわゆる免許証を自主的に返納した方、75歳以上の方が対象になりますが、そういった支援事業としまして、高齢者運転免許証自主返納支援事業というものがございます。

こちら今申し上げたとおり75歳以上の方で免許証を返納された方を対象に、申請行為によって助成するものでありますが、シニアカーも対象になっております。市内共通商品券2万円相当額を交付するという制度になっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

シニアカーも大体が30万から40万ということで、2万円の給付ぐらいでは、やっぱりちょっと足りないんじゃないかなというふうに私は素直に思うんですけども、そこら辺はどうでしょうか、もうちょっと何か市独自で今後上乘せというんでしょうか、何かそういったことは市独自でやっぱりできないもんなんじゃないでしょうか。これが目いっぱいなんじゃないでしょうか。そこら辺やっぱりもうちょっと手を差し伸べてあげてもいいんじゃないかなというふうに思うんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

私ども環境生活課の所管する事業でございます。この中で、今ほどの高齢者の免許返納、この事業の目的とすれば、1つは高齢者の事故を予防する、防止する、軽減するという目的の下で実施しております。2万円相当というのは、交通の確保ということでタクシー券、またバスカードというものも交付しております、その中から今ほど申し上げた内容のものをお返しいただく。当市の地理条件から、なかなか返すにしても足の確保が難しいという状況もあるわけですが、そういったところでの1つのきっかけ、インセンティブとして取り組んでいる事業であります。そういったところを、また進めてまいりますので、私どものほうでは、現在のところはこういった内容のもので、現状のまま進めさせていただきたい。また、他の制度、交通安全の中で別のものがあれば、それは私どものほうで検討を重ねていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

やはりもうちょっと上乘せしてほしいというのは、私の希望なんですけどね。やっぱり財源がなければ稼いでいくしかもうないもので、何とか、米田市長にお願いなんですけども、やっぱり糸魚川市は稼げない町なんじゃないでしょうか。そういうわけではないんですが、そこら辺どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

今ほど福祉事務所長と環境生活課長から答弁させていただきました。基本的には、介護認定を受けた方、ここが不自由ということであれば、基本的には介護認定を受けていただいて、その制度の中でやっぱり運用していただきたいという考え方でございます。そのほかに免許返納者に対しては、今ほど環境生活課長が申し上げましたとおり、タクシー券、バスカード、支給がございます。その隙間に本当に困っている方がおられるかどうか、その辺はもしあるのであれば、私どもお聞かせいただいで、対応を検討したいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

時間も過ぎてしまいますので、3番目のほうに入らせていただきます。

(1) 番でございます。関連してなんですけども、先ほど除雪に関する予算というのは8億円だ

というような説明がありましたけれども、天候は管理はできませんけれども、予算が少なくなるような雪の降り方、そういったものはあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

お答えいたします。

天候相手ですので、昨年並みに準備をさせていただきたいと思っております。昨年以上に降ってしまった場合には、また予算のほうを確保しなければいけないんですが、今のところ予報では昨年並みに大雪になるという予報ですので、それに備えたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

お答えいたします。

降り方によっては、予算が不用となるケースもございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

何となくなんですけど、イメージでは、降っては消えて、降っては消えてというのが一番理想なのかなんて思うんですけど、そういうような答えで、そういうような認識でよろしいのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

渡辺議員の質問にお答えします。

降り方にもよりますが、降り続けてしまいますと当然、除雪は続きますし、私どものほうは、積雪、降雪が10センチになれば、除雪車が出動いたします。また、消雪パイプの場所であれば、順次消えていくものと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

では、（2）番に関してです。注意予報というのは、危険だと思われる都度、出していてもらいたいと思うんですけども、それはやはり可能だというふうに認識してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

竹田消防長。〔消防長 竹田健一君登壇〕

○消防長（竹田健一君）

お答えいたします。

やはり危険な情報等あれば、市のほうで安心メール等を使いまして、注意情報を出すという対応をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしくお願ひいたします。

（3）番でございます。消雪パイプは、全ての区間で、もう既に点検済みなんでしょうか。途中で出が悪いというわけじゃないですけど、箇所によってはかなり異常に出てたり、そういったようなことが見受けられるんですけども、そこら辺は今年は大丈夫でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

お答えいたします。

シーズンに向けて、定期的に計画的に点検のほうを行っております。これから本格的にシーズンも迎えますので、12月中には、点検を今やっているとございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

じゃあもう12月の中旬ぐらいまでには完了するという認識でよろしいでしょうか。それとももうちょっとかかりそうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

お答えいたします。

点検によって修繕が必要なところは、随時、緊急に修繕して対応していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足してお答えいたしますが、12月1日から、もう万全な対応をいたしております。

ただ、やはり消雪パイプというのは、勾配のある道路については、もし出たときに泥を吸い込んで、また詰まるところがございます。そういうケースも点検後に起きる可能性がございますので、そういったところは、また皆さんからご指摘いただければ、早急に対応していきたいと思っておりますが、やはりシーズンは、12月1日をめどに万全な対応をしていきたいということで今スタートいたしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

今のは、今の説明で分かりました。よろしく願いいたします。

（4）番目でございます。先ほど市長の答弁では、各家庭のものに関しては、助成はしないというような答弁だったと思うんですけども、なぜ考えてないんでしょうか。所有物だからということなんでしょうか。それとも何かやっぱりどうしても引っ張ってくるのにやっぱりお金もかかるし、少しでも助けになればいいなと思うんですけども、そこら辺はやはり市としては難しいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

個人所有の消雪パイプにつきましては、市内におきまして各いろんな家庭でお使いになられてるケースがございます。水道水を使ったり井戸水を使ったり、また各地域によっても様々でございます。その点につきましては、今のところ各個人にお任せしております。市としては全体も把握できておりませんし、それによってどれぐらいの費用がかかるかちょっと想定できませんので、市としては、市道の除雪につきまして、今万全の体制を取るということになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これも幾ら個人のというのも理解はできないわけじゃないですけど、何かやっぱり助成の対象にしてもらいたなというふうに思います。やはりだんだんスコップを持ってやるというのも、ちょっとだんだんきつくなっていく年代の方もいらっしゃいますので、ぜひやっぱりそこら辺も考慮していただきたいと、そのように思います。これはお願いでございます。

（5）番に関してなんですけども、先ほど市長のほうからも地区の民生委員の方というようなことがありましたけれども、本当に地区の民生委員の方とのコミュニケーションだとか、どうしても年配の方というのは遠慮がちになってしまうので、そこら辺は風通しがいいようにしてもらいたいし、担当係でこういったものがあるんだよというようなことで周知徹底してもらいたいと思うんですけど、そこら辺はできますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯貝福祉事務所長。〔福祉事務所長 磯貝恭子君登壇〕

○福祉事務所長（磯貝恭子君）

お答えします。

こちらの世帯の対象は、やはり高齢の方が多いので、なかなか外に出ていろいろ相談するというのが難しい方が多いことから、地元いらっしゃる民生委員さんが全面的に協力いただいて、いろいろ相談に乗っていただいて書類等の作成や、また業者さんのどういうところがあるんだというところの相談も含めて、民生委員さんが手助けをしておるというような事業になりますので、もちろん市としても広報等はいたしますが、民生委員さんのほうが一番の今、支援の先になっているというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ぜひ民生委員さんと協力してもらって、大切にこの制度を使っていたきたいと思います。よろしくをお願いします。

（6）でございます。先ほど市長の答弁では、適切にというようなことで言ってたんですけども、本当に朝早くから限られた時間で業務をされるということで、大変申し訳ないところでもあるんですけども、ちょっと不十分といいますか、そういった声が聞かれるもんですから、結局、私のところへ来ても、結局やっぱり市のほうへ問合せなり、どうなんだということしかちょっと言いようがないもんですから、そこら辺はやはりこういった声があった場合、市のほうへ、市の担当の係のほうへ連絡してよろしいもんなんでしょうか。そういうことで、市の担当の方もやってくれるというか、指導していただくというか指示していただけるというふうに認識してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

古平建設課長補佐。〔建設課長補佐 古平 明君登壇〕

○建設課長補佐（古平 明君）

お答えいたします。

そういった市民の方のお声は、常にお聴きしまして、また受託業者と相談する中で適切に対処していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしくお願ひいたします。

では、4番目の質問に入ります。

(1)でございます。柵口温泉権現荘の今後の運営と申しますか、施設運営についてであります。現在、当施設の1日当たりの日帰り客というのは、何名なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎能生事務所次長。〔能生事務所次長 長崎英昭君登壇〕

○能生事務所次長（長崎英昭君）

お答えいたします。

今年度の日帰り客ということなんですけども、9月末現在なんですけども、一応日帰り客のほうは、1万647人でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ちょっと9月末でと言われたんで1日当たり、1日平均どのぐらいなんでしょうか、その日帰りのお客様というのは、そこら辺は調べてないでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午前11時51分 休憩〉

〈午前11時52分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎能生事務所次長。〔能生事務所次長 長崎英昭君登壇〕

○能生事務所次長（長崎英昭君）

大変失礼しました。1日当たりで言いますと100人から150人でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

公衆浴場では、大体800人が目安というふう聞いております。最低でも500人ぐらい入らないと無理ではないかと思うんですけども、今後、日帰り運営にする理由というのは何なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

日帰り温泉機能の継続ということにつきましては、従前から能生谷地域におきまして、温泉センターから始まりまして、地域での公衆浴場の機能が確保されておったということも含めまして、今現在も住民の福祉の向上に資する施設ということで営業してるところでございまして、今後につきましても、その機能は維持していきたいというふうに考えているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

あまり商売ベースというよりは、福祉の向上ということに軸足を置くということによろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

そのとおりでございまして、これまでの経過も踏まえまして、市民福祉の向上という観点から、この機能を継続していきたいという考えでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そもそも論になって大変恐縮なんですけども、なぜこのような事態になってしまったと。この原因は何だというふうに考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

今、日帰り温泉ということでのご質問ということでお答えさせていただきます。

日帰り温泉につきましては、当然、地域住民の皆様からご活用いただく施設でございますが、コロナ禍ということもございまして、周辺に同様の施設ができてきたということもございまして、そういうものも含めて、お客様の足が権現荘に向かわなかったものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

私は、やっぱり本来利益が出るはずの施設が、運営のやり方がよろしくなかったためになってい

るとしか思えないんですね。現に利用している方が、サービスが悪いとか、悪いという声があり、やっぱりちゅうちょするとか、あるいは、また外から利用者を増やす方法はないのかとか、人が来ないから閉鎖するのはやっぱりおかしいという地域住民の声があるんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

毎月指定管理者との懇談を行っている中で、そういう苦情も寄せられている旨のお話は聞いているところでございます。そういうものを含めまして、今、議員おっしゃいますように接遇ですとかおもてなしの関係ですとか、そういうものは総合的に高めていかないと魅力のある施設にならないと思いますので、そういうものが総合的に合わさって、お客さんが減少してる要因の一つになっていくものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

ほかに宿泊施設というのは、このまま利用されないで廃墟となってしまうものなんではないでしょうか。そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

権現荘全体の施設につきましては、やはり従来から市民の福祉の向上と交流人口の拡大という観点から運営されてきたものでありまして、引き続き施設の有効利用と地域活性化という観点から、できれば施設をそのまま、例えば民間譲渡も視野に入れて活用していただくように、その可能性について今検討しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

さらに今後、必要となる大規模改修費用は、約7,360万になるという概算報告があります。もともと税金で建てた施設を、さらに採算度外視でリニューアルしたつげが回っているんじゃないかとやっぱり思えないんですね。誰が責任を取るのかというのを言うと、誰も何か取らん、取らないと言うと聞こえが悪いかもしれませんが、やっぱり役所の悪いところというのは、コスト意識というのがそもそもなくて、そういったところはそういうふうに私は捉えてしまうんですけど、そこら辺はどのようにお考えになっておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

施設のリニューアルにつきましても、当時の温泉センターとの統合等を含めまして、老朽化しと
る中で、さらなる交流人口の拡大に向けて取り組んできたところをごさいますて、あと地域内での
経済の循環ですとか、地域内での雇用を含めまして、総合的には一定の成果を果たしてきたもの
というふうに考えております。

○議長（松尾徹郎君）

ここで、暫時休憩いたします。

再開を1時といたします。

〈午後0時00分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

先ほどの続きとなります。

私が思うには、やはり糸魚川市で一番いい職場、優良勤務先は糸魚川市役所だと思います。サラ
リーマンでこういうところはないだろうというふうにも思っております。今後、住民の意見を聴い
てもらえるような、そういった説明会というものを開く予定はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋産業部長。〔産業部長 大嶋利幸君登壇〕

○産業部長（大嶋利幸君）

今、施設の活用について、様々な可能性を探っているところをごさいますけども、ある一定の方
向が出た段階で、議会並びに住民の皆様にご説明をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

よろしくお願ひいたします。地元の住民の皆様からは、お客様に喜んで来てもらえる施設にして
ほしいという声ほとんどでありますので、改善をしていくことを強く求めたいと思います。この
件は、これで終わりにしたいと思います。

次に、最後2番目でございます。

全体ということになるんですけども、12月1日現在の糸魚川市の人口というのは何人で、11月と比べて何人減ってるのか、また、前年同月で何人減っているのか、教えていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

12月1日現在の人口は、3万9,817人という数字でございます。こちらの数字は、前年の同月に比べますと778人の減少というところでございます。

以上です。

失礼しました。前月と比べますと70人の減少ということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

そうですね、なかなか厳しい数字になってきているということで、一向に増えるというような気配は見えないというふうに思います。むしろ減り方が急過ぎて、危ないくらいじゃないかと。このままだと糸魚川市ではなくて、糸魚川区にならないか心配なんですけども、そこら辺は大丈夫でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

お答えします。

今現在、確かに議員のおっしゃるとおり、今年4万人を割りました。引き続きここは糸魚川市として、私たちは続けていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

他市ではございますけれども、加茂市の最高戦略責任者というこの制度は、総務省の地域プロジェクトマネージャー制度というものを活用したものであると理解していますが、任用に至る背景にあるものは何だと考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

市長の答弁でも申し上げたとおり、専門的な知見が必要となる場合というところであったり、そういった状況に応じてといったところかとは思っております。

加茂市さんの場合、責任者の役割としまして、今回、総合計画、何年かぶりに久しぶりに定めたという総合計画でございまして、そちらの目標の実現ですとか、まちづくりの重要施策の推進といったところの企画・立案といったところ、加えまして、民間事業者との橋渡しといったところにも役割を設定しているようでございます。そういったところが総務省の地域プロジェクトマネージャーという取組と合致して、招聘に至ったのではないかというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

これは私の想像というわけじゃないんですけども、ある程度想像しておることなんですけども、恐らく市役所内部で課題解決といいますか、そういった議論をしても、仮にそれが正論であったとしてもなかなか前に進まないというのは、ある種のしがらみといいますか、そういったものがあって、思っても面と向かって言えないという、そういったことではないかと思えます。むしろ外部から来た人が、新しい知見を基に丁寧にヒアリングを行った上で、そうだよねというようなことで、すんなり事が前へ進んでいくんじゃないかというふうに考えておるんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務部長。〔総務部長 渡辺孝志君登壇〕

○総務部長（渡辺孝志君）

外部人材の登用について、議員から今ご意見がございました。確かに外部人材を登用するというのは、私たちがここに住んでいる、ずっとここに住んでいる人間とは、また違った視点での目というのが当然あると思えます。よその地域から来れば、やはり糸魚川のことを、逆によさというのを引き出してくれる。そういう知識・能力、発信力、そういったものがあると思えます。そういった面はしっかり目的を定めて、そういった外部の活用については進めていかなきゃいけないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

10月にも流山市長さんの講演がありました。つくばエクスプレスという鉄道網が呼び水になっているんだろうと思うんですけども、あの市長さんがおっしゃってたのは、誰に何を提供していくのかを、やはり若い共稼ぎ夫婦にターゲットを絞った政策が人口増の功を奏したのではないかと思いました。さらに若者、ばか者、よそ者というようなフレーズもありましたが、加茂市の場合、

市長、副市長に次ぐナンバー3のポジションで、CSOの年収が950万円と聞いております。国からは最大マックスの650万、加茂市からは300万ということで、300万ぐらいは何とか糸魚川市で工面できないもんかというふうに思っておるんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

課題解決に向けまして、様々な専門的知見ですとか能力の持った方というのを活用していくということも非常に有効な手だての一つかとは思っております。

ただ、加茂市さんの場合、今回の地域プロジェクトマネージャーの制度自体が、650万円の国の支援が受けられるのが3年といった上限もございます。そういう期間限定でどうなのかといったところもあるかなというふうには感じているところでございます。

また、外部人材の登用以外にも、委託をするですとか連携協定といった手法もあったり、今ほど議員のご指摘のように国からの支援といったところもありますので、少しほかの自治体の状況やなんかも見て、研究してまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

加茂市の市長さんは、女性の方でございますけれども、女性だから行政手腕がどうということは関係ないと思っております。このままだとやっぱり駄目だというふうに判断されたんだろうと思えますし、その総合計画で定められた各種目標の実現に向けて、やはり一步踏み出したというふうに思います。糸魚川市もまねることはやっぱり私は恥だとは思わないし、よいと思えばどんどんまねしていくべきだと思います。米田市長なら、やっぱり私はできるとそのように思いますが、改めていかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

県内、また全国各自治体があるわけでありまして、やはり各自治体にはそれぞれの課題を抱えておる部分があります。そういう中で首長の考え方、そしてそういった課題に対しての対応の仕方というのはいろいろあるかと思うわけでありまして。その対処の仕方というのを私は、やはりその自治体自治体の個性の中、特色の中で私はやっておる状況であるわけでございまして、私が今、加茂市を例におっしゃいましたが、加茂市は加茂市の課題の中でそういったポジションをつくって、おやりになつとる。我々のところは我々のところで今やっておるものに対しまして、そんなに風通しが悪いわけでもないし、またそれが上がってこないということではなくて、いろいろ意見が飛び

交う部分もあるわけでありまして。私は、今ある課題をどのように解決するか、今我々はそこに力を入れていきたいと思っておりますので、新たな役職をつくらなく対応していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺議員。

○8番（渡辺栄一君）

市長のご発言もありましたけれども、やはり市民や団体、企業、行政と協働しながら地域の魅力の発掘、発信と総合計画の着実な推進を図ってほしいと願います。

国の制度を利用するに当たってのハードルは、そんなに高くないと聞いております。むしろ希望する人物像に合致するほうを選び当てるほうが大変だというふうに聞いております。あしたやろうはバカヤローなんで、早く糸魚川市のコーディネーターを探し当ててもらいたいことをお願いいたします。

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

ここで、説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

〈午後1時13分 休憩〉

〈午後1時14分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、伊藤 麗議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

伊藤議員。〔6番 伊藤 麗君登壇〕

○6番（伊藤 麗君）

清新クラブ、伊藤 麗です。

事前に通告いたしました内容に基づいて、1回目の質問を行います。

1、木浦小学校の取組と閉校後の地域について。

10月30日の木浦小学校創立120周年・閉校記念式典、木浦わくわく文化祭に出席しました。記念式典では、木浦小学校の歩みのスライドショーが上映され、卒業生の思い出のスピーチなど、私も一卒業生として胸に迫るものがありました。学習発表会では、生徒の学習の成果が演劇や歌、楽器演奏を交えて楽しく発表されました。

(1) 3・4・5・6年生が総合学習で取り組んだ、錦鯉にまつわる学習の発表が行われました。

糸魚川地域に残る錦鯉の文化について、市としてはどのように捉えているか伺います。